

スキル定着に向けて活用！100年先の未来を考える『未来計画』につなげる

2018年度より、総合的な探究の時間を『交野クロスプロジェクト』として先行実施。

①学力向上プロジェクト、②キャリアプロジェクト、③探究活動の3つに重点をおき、「自律、主体的に探究していく」生徒を育てることをめざしている。

「具体的な事例を通して学べる」ことから、本教材を取り入れたカリキュラムを編成し、2020年度実施した。

対象：1年生 281名 7クラス
2年生 275名 7クラス
普通科

■ 年間カリキュラム

- 総合的な探究の時間（35時間） ●活用テーマ：導入、まち、伝統継承、共生
- 1学期にキャリア、2学期はスキルトレーニングを行い、次に本教材を実施。その後グループ探究を行う。



スキルトレーニングの後に本教材を実施。具体的な課題解決を題材に、スキルを「定着」させることをねらった。

活用のアドバイス

スキルトレーニングでは、「机上の題材に対して、ただ練習をしている」ようで、活発さがありませんでした。他の教材は、スキルはたくさん載っているが、「それをどうやって使うのか」という具体が無いものが多いです。この教材は、**リアルな題材が、映像やスライドで準備され、その中にスキルを活用する場面があるから、生徒がのってくるんだと思います！**



■ 探究エピソード紹介

「未来」を考える

本教材で手応えを感じて、進路指導部の2人の教員が構想をしたのが『未来計画』。

生徒の自由な発想を尊重し、「未来の〇〇」というテーマでグループ探究を行った。成果発表の場は、1・2年生合同のポスターセッション。校舎を広く使って、130の発表が校舎内に掲示された。

●1年生探究担当 岡田純輝先生

「100年先の未来」を考える導入授業、携帯電話を考える授業では、「無くなる？」などの意見も出ました。生徒の自由な発想を大切に話し合わせることで、一人一人が自分事として未来を考えることができました。この授業があったからこそ、『未来計画』につながりました。初めての単元でしたが、「未来のゲーム」「未来のメイク」など、本当に自由な発想で、これまでできたらいいなと思っていたねらいどりの探究をさせることができました！



進路指導部長 塚本翼先生から『探究』へのアドバイス！

■ 新学習指導要領は、教員にとっても、まさに「探究」。まずはチャレンジ！

よかったのは、探究教材体験ワークショップ。まさに「教員向けの探究についての研修」でした。2020年度、初めての挑戦となった『未来計画』も、この説明会で、それぞれの先生が探究について具体的なイメージをもつことができたからこそ。企画したのは若手教員2人。この教材の活用と授業への挑戦をきっかけに、交野高校の探究が一気に進展しました。

探究で大切なのは、生徒が実行したかどうかだと思います。そのためには、わたし達教員も、失敗をおそれずやってみる、教員にとっての探究が大切だと思います。



↑「未来計画」のポスターセッションの様子

